

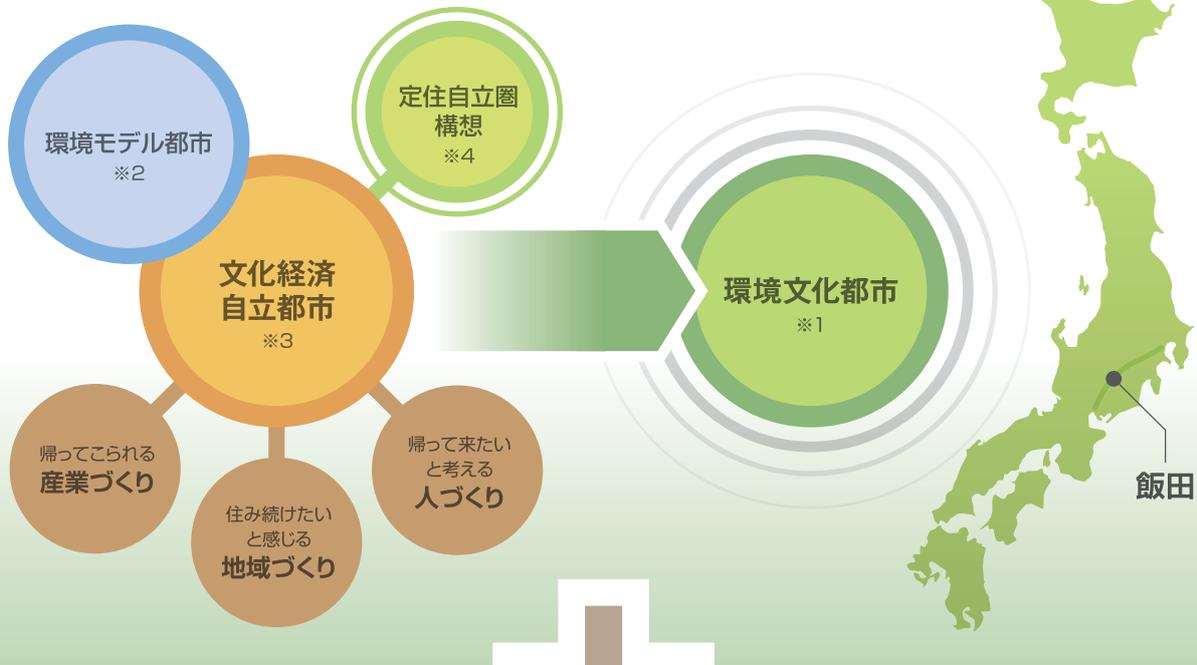
おひさまもりが育む低炭素で活力あふれる

環境モデル都市・飯田

~ Green New Deal Policy in Iida ~

環境文化都市・飯田 いいだ

飯田市では、環境を人類共通の課題として認識し、「21'いいだ環境プラン」に基づき、地域ぐるみで地球環境保全活動に取り組んできました。2007年には環境文化都市宣言を行い、人も自然も輝く文化経済自立都市の理念に基づき、産業づくり、地域づくり、人づくりを実践しています。そして2009年には環境モデル都市の認定を受け、低炭素で活力あふれる環境文化都市・飯田を目指し、先駆的な取組を実践しています。



太陽光市民共同発電の展開

～ おひさまパワーを生かして～

市民ファンドを活用し、市内や周辺地域で160箇所を超える公共施設や事業所の屋根を活用して、地域のエネルギー会社が太陽光発電による電気を供給する「太陽光市民共同発電事業」を展開しています。将来的には市内のあらゆる屋根で太陽光発電を普及させ、地域全体が「おひさま発電所」になることを目指します。

●飯田市立鼎(かなえ)みづば保育園



○保育園での環境教育

木質ペレットの利用拡大

～ 豊かなもりの資源を生かして～

豊富な森林資源を生かし、小中学校のペレットストーブや公共施設のペレットボイラーを中心に、南信バイオマス協同組合が製造する木質ペレットを利用し、森のエネルギーの普及を推進しています。



たつえ
○飯田市立龍江小学校のペレットストーブ

●飯田市南信濃「かぐらの湯」ペレットボイラー



産業界との連携

～ 環境と経済の好循環を目指して～

環境ISOをキーワードに活動する「地域ぐるみ環境ISO研究会」を中心に、産業界でも積極的に環境改善活動に取り組んでいます。また三菱電機株中津川製作所飯田工場には、2009年12月に太陽電池セル工場が増設され、地域の産業界とも連携しながら環境と経済が好循環するまちづくりを進めています。



●地域ぐるみ環境ISO研究会の地元高校生への出前講座



○太陽光パネルを生産する三菱電機株中津川製作所飯田工場

飯田市の先進的な取り組み

飯田市環境モデル都市・行動計画概要

2050年 | 地域全体から排出される温室効果ガスを
2005年対比で**70%**削減

温室効果ガス排出削減目標

2030年 | 排出の著しい家庭部門からの温室効果ガスを
2005年対比で**40~50%**削減

「おひさま」と「もり」の エネルギーの総合利用への展開

タウンエコエネルギーシステムの構築と
中心市街地における低炭素まちづくりの実践

太陽エネルギーの利用促進

太陽光市民共同発電の仕組みや国の補助金、市の奨励金制度により、太陽光、太陽エネルギーの利用を促進します。

環境視点からの木材利用と 森林管理の推進

木材の生産から需要までの一貫した需給体制を構築するとともに、木質バイオマスエネルギーとして間伐材等を活用し、森林整備と木材利用を推進します。

建築物の省エネ化

地域独自の環境価値を付加した省エネ型の建物の普及と高効率エネルギー機器への転換による低炭素住宅等の普及を促進します。

中心市街地における タウンエコエネルギーシステムの展開

街区単位で太陽熱、木質ペレットによる面的熱供給を行う「タウンエコエネルギーシステム」を構築し、中心市街地で実証的に導入し他地区へ展開します。

移動手段の低炭素化

車両乗換えや公共交通による
低炭素な移動手段の取り組み

電気自動車、電動自転車等、環境にやさしい車両への乗り換えの支援策や利用システムを構築し、移動手段の低炭素化を図るとともに、デマンド型タクシー導入等公共交通利用への転換を図ります。

産業界との連携

地域ぐるみで環境に配慮した
低炭素型企業活動への取り組み

企業の排出削減を重点評価する等により、地域版環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の取組を促進し、「地域ぐるみ環境ISO研究会」を母体にして低炭素な企業活動の実践の輪を拡大します。

低炭素社会に向けた 地域全体の意識変革

低炭素で活力あふれる地域社会の形成に
おける市民の参画と人材の確保

低炭素社会基本条例(仮称)により、地域全体で低炭素社会に向けての目標を明確にし、共有化します。地球温暖化防止コーディネーターを養成し、市民の意識醸成、低炭素ライフスタイルの実践へと誘導します。

30年後のAさん家族の生活

Aさん夫妻は、中心市街地にある外断熱と太陽熱とバイオマスによるエネルギー供給がされている高齢者向けのコーポラティブハウスに住んでいます。中心市街地以外でも、Aさん夫妻と同様に多くの方が、地域それぞれの拠点で、地域産材をふんだんに用いたコーポラティブハウスに住んでいます。こうした人たちは、エネルギー効率とそのセキュリティが極めて高い暮らしにより、経済的・身体的負担がかからない、健康的で安心・安全な生活を送っています。コーポラティブハウスの周辺には、高齢者向けサービスを提供する医療機関や店舗が存在し、また、デマンド交通システムで容易に移動することもできます。

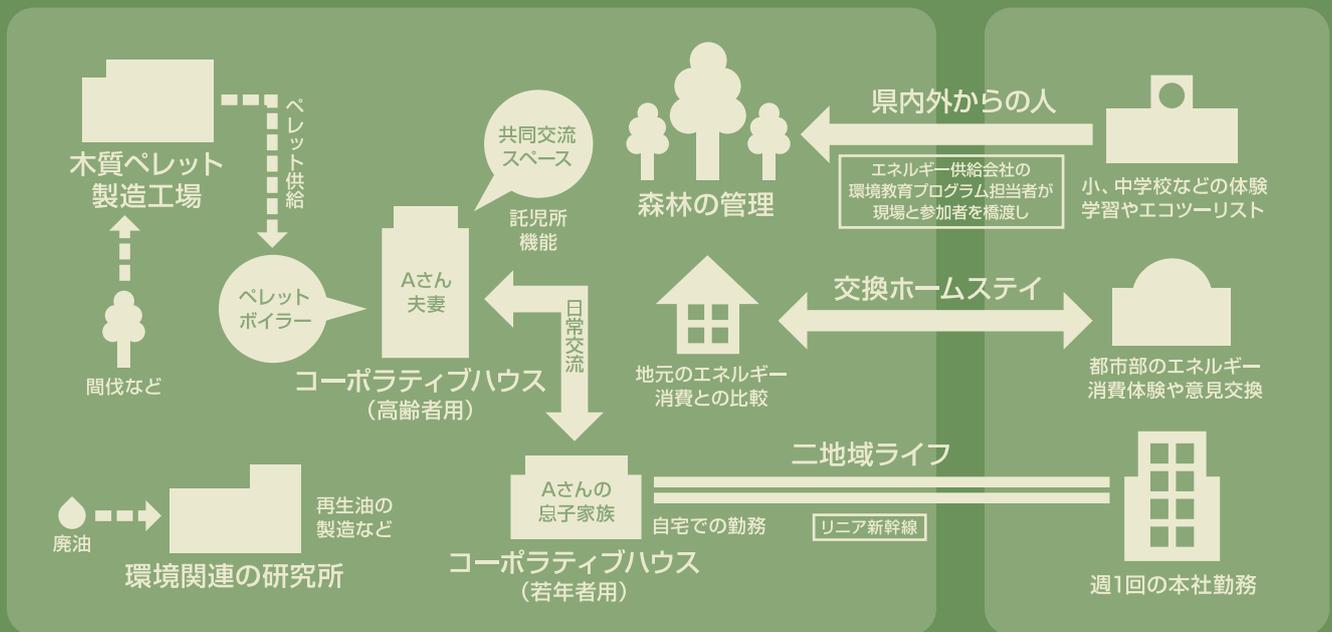
Aさんは、80歳になる今でも、地球温暖化防止コーディネーターとして精力的に活動しています。妻はベジタブル&フルーツマイスターの資格を持ち、地元の農協や生産者が取り組むフードマイレージ短縮の運動にも参加しています。その一環として、コーポラティブハウスの共同利用の食堂では、地域産物の食材による食事が提供されており、フードマイレージの短縮による食生活からの温室効果ガス削減に取り組んでいます。そして何より、共同で食事をし、共同で暮らすことで、夫婦や入居者同士のコミュニケーションがふんだんに図られ、生き生きと暮らしています。



Aさん夫妻の息子は、別のコーポラティブハウスに住居し、飯田市が誘致した東京に本社のある企業の環境技術を開発する研究室に勤務し、週1回はリニア中央新幹線で本社に通っています。在宅を中心とした勤務形態で、運輸部門における温室効果ガスの削減に貢献しています。息子の妻は、大学時代のインターンシップでこの地域を訪れた際、人々の環境意識の高さと実践に魅了され、地域のエネルギー会社に1ターン。この会社で、教育部門に所属して環境教育プログラムの開発を担当しており、年間10万人訪れるエコツーリストに提供し、現場の体験学習を通じて都市住民に低炭素ライフスタイルを提案しています。

息子夫婦の子供は3人、中学校に通う長男は、週1回は環境関連の研究室でバイオマス関連の研究開発のインターンシップに参加しています。小学校に通う長女は、カーボン・オフセットの交流を進める首都圏Y市のプログラムで、交流家庭宅で夏休みを過ごしています。生まれたばかりの二男は、Aさん夫妻のコーポラティブハウスで他の居住者の孫たちと共に育てられ、共働きする環境が充実しています。

Aさんの楽しみは、毎朝街の中心にあるりんご並木を散歩することです。かつて自分が中学生だった頃に、このりんご並木の手入れを行っていました。Aさんの息子、孫も同じ中学校に通い、このりんご並木を三代にわたって手入れしている感慨にふけりながら散歩するAさんは、りんご並木を歩くたびに街のアイデンティティを感じます。



- ※1 環境文化都市 …… 今後更に20～30年という超長期を見通して実現する都市像である「美しい自然環境と多様で豊かな文化を活かしながら、市民・事業者・行政など多様な主体の積極的な参加と行動によって築く、人も自然も輝く個性ある飯田市」(2007年3月23日宣言)
- ※2 環境モデル都市 …… 国全体を低炭素社会に転換していくために、温室効果ガスの大幅削減など高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジするモデル都市として政府から選定された13の自治体。(2009年1月23日選定)
- ※3 文化経済自立都市 …… 環境文化都市の前提条件として第5次基本構想基本計画で目指す都市像である「高い付加価値のある経済活動が営まれ、個性的で魅力ある地域文化が受け継がれている都市」
- ※4 定住自立圏構想 …… 圏域の中心市と周辺町村が一对一の協定を締結し、生活に必要な機能を集約とネットワークの考え方で役割分担するなど、それぞれの特色を生かしつつテーマごとの共同経営を進め、自立した生活圏域を構築していくもの。若者達が定着し、多彩な「人財」が将来にわたり往来し、活力にあふれ美しく、心が響きあい、安心して暮らすことができる地を目指す。



飯田市 水道環境部 地球温暖化対策課

TEL.0265-22-4536 FAX.0265-22-4673

e-mail●sakugen_co2@city.iida.lg.jp

URL●http://www.city.iida.lg.jp/

Copyright (c) 2009.03 IIDA CITY OFFICE. All Rights Reserved.



このパンフレットは大切な環境資源を守るため
環境にやさしい大豆インキ100%と古紙配合率
100%の再生紙を使用しています。